

チャレンジショップを設置して商店街に不足する「食」関連の業種 5 店舗を誘致。

伊予三島商工会議所

機関名	伊予三島商工会議所		
所在地	愛媛県四国中央市三島宮川 4-6-55		
電話番号	0 8 9 6 - 2 3 - 2 5 5 5		
地域概要	(1)管内人口 95 千人	(2)管内商店街数 6 商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 (任意) 1	(2)会員数 (未組織) 一商店	
	(3)空店舗率 18.1%	(4)大型店空き店舗数 0	
	港通り商店街		
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成 16 年度 空き店舗対策事業 総事業費 3,900 千円
 ・チャレンジショップ「食彩横丁」の設置

【事業実施内容】

1. 背景

愛媛県四国中央市は、県の東端部に位置し、香川県、徳島県、高知県に接しており、四国で唯一 4 県が接する地域である。高速道路網が整備され、県庁所在地のいずれにもほぼ 1 時間で結ばれている。

平成 16 年 4 月 1 日に川之江市・伊予三島市・宇摩郡土居町・宇摩郡新宮村の 2 市 1 町 1 村が合併し、人口約 9 万 5 千人、面積約 420 k m²の四国中央市となった。

伊予三島地区（旧伊予三島市人口約 3 万 8 千人）は、8 割を山林が占め古くから「紙の町」として栄えた。中心市街である「いよみしま秋桜通り」は、6 つの商店街から成っており互いに協力し合って取り組みを行ってきた。しかし、人口減少に加え、周辺部にショッピングセンター等の大型商業施設が複数あり顧客が流出するなど、厳しい状況となっている。中心商店街の平均空き店舗率は 18.1%、特に新町商店街では 34.2%にまで増加してしまった。

そこで平成 15 年 6 月に発足した「TMO まちづくり伊予三島」が中心となって、中心市街の空き店舗対策事業に取り組むこととなった。



四国中央市の位置（四国中央市 HP より）

2. 事業内容

中心部の空き店舗を活用し、買い物客の来街頻度を高めるとともに、業種のバランスを改善し商店街としての機能充実を図ることを目的として、周辺へのスーパー等の出店により特に打撃を受けて減少した食料品関係の店舗を誘致した食品・食材店「食彩横丁」を設置した。

(1) 「食彩横丁」の店舗施設

空き店舗物件の選定にあたっては、同じエリア内に位置するスーパーとの競争回避や、歩行道、後背地の人口、建物の構造などを考慮し、港通り商店街の最適な物件を選んだ。

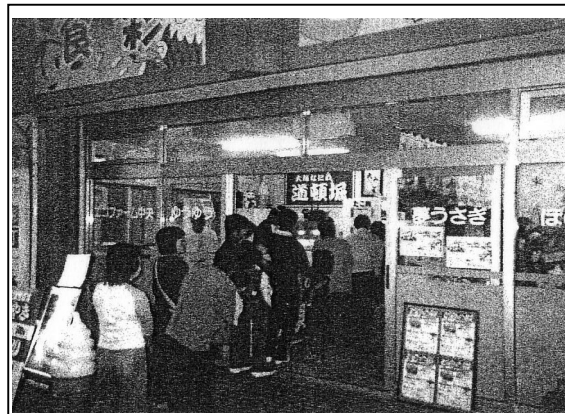
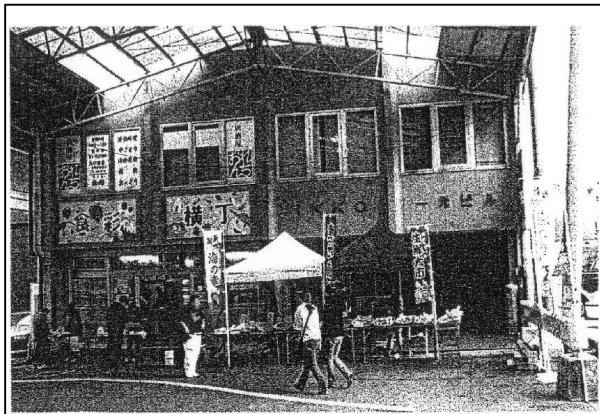
- ・所在地 : 四国中央市三島中央 2-5-7 一光ビル1階
- ・出店店舗数 : 4店舗 (4区画) 1店舗あたり約 16 m²
- ・営業期間 : 平成 16 年 10 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日
- ・契約 : テナント契約は 6 ヶ月契約で、再選考の上 2 年まで更新可
- ・費用負担 : 家賃月 2 万円+水道光熱費。最初の 6 ヶ月間は賃料無料。

(2) 「食彩横丁」の出店店舗

入居者の募集を行ったところ 7 名の応募があり、面接等選考を行った結果、5 名の出店者が決定した。うち、2 名が 1 区画を共同で使用することとなった。

店名	営業内容
ゆうゆう	手作りのクッキー、パウンドケーキ販売
エコファーム中央	資源循環型農業での農産物販売
夢うさぎ	お弁当、惣菜の販売
ほのぼの弁当	手作りおかず、おにぎり、弁当の販売
道頓堀たこやき	たこ焼き、イカ焼き、やきとりの販売

「チャレンジショップ食彩横丁オープン初日の様子」



「食彩横丁オープンチラシ」



【 効 果 】

・不足業種の誘致

チャレンジショップに出店した5店舗のうち2店舗が、引き続き同所で営業を継続しており、最大の目的である空き店舗の解消と不足業種の「食」関連店舗を補うことができた。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

・事業費の確保

資金的な制約から、チャレンジショップの出店者の家賃補助やPR等に十分な予算を割けなかった。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

限られた資金の有効活用という点で、事業報告書の作成等にお金をかけず、テナントのサポートに力を入れるべきである。

【 関 連 U R L 】

伊予三島商工会議所 <http://ww8.tiki.ne.jp/~cci-3806/>